

「熊本 S. J. C. D. 例会抄録」

演題 「今、私の行っている小児矯正～2つのコンセプトから～」

演者名 鮫田誠也

日付 2011年9月27日(火)

KeyWords 1. Biotherapy (生物学的機能療法)  
2. メカニカルな矯正治療

抄録 定期健診で来院する子供達の多くに何らかの歯列不正、咬合異常が認められます。「永久歯交換期まで様子を見ましょう」ということでそのままにしていると、ますます悪化させてしまうことは目に見えています。ましてや第2次成長期を迎えてしまうと骨格性の問題に発展し外科矯正の適応になる可能性が高まります。

乳歯列期からから矯正専門医を受診する患者様は少ない為、それを回避するためには身近なかかりつけ歯科医院での早期対応が必要であります。

現在、私は小児矯正(咬合誘導)において①Biotherapy(生物学的機能療法)と②メカニカルな矯正治療の2つを中心に治療に取り組んでおります。

今回、現在治療中の3症例を発表させていただきます。今までの様な「暫く様子を見ましょう…」という対応はもはや過去のものになる時代がくることと、将来を担う一人でも多くの子供達が健全な歯列弓になってもらうことを願いつつ、諸先生方の御意見、御指導のほど、宜しくお願いします。